

新型コロナウイルス感染症の病床確保のフェーズの引上げについて

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が2週間連続して増加傾向にあり、今後、病床稼働率が高まる可能性もあることから、7月4日から、東葛南部・東葛北部・印旛圏域について、フェーズ2Aに引き上げることとしましたので、お知らせします。

1 フェーズの引上げ内容について

- 東葛南部・東葛北部・印旛の3つの圏域について、7月4日（月）からフェーズ1からフェーズ2Aに引き上げ。
【確保病床数】 1,137床 → 1,262床（3つの圏域で125床の増）
- 各医療機関に対し、可能な限り速やかにフェーズ2Aの体制への移行を依頼するとともに、遅くとも7月19日（火）までに体制を整えるよう依頼。

2 今後の方針

- 今後、圏域ごとの新規感染者数の増加傾向や病床の状況等を勘案し、他の圏域についてもフェーズ2Aに引き上げる等の検討を行う。

3 これまでの経緯

- 6月9日： 東葛南部・東葛北部圏域をフェーズ2Aからフェーズ1に引き下げ、全県フェーズ1で運用

【参考】病床確保のフェーズ（令和4年7月1日現在）

フェーズ		1	2A	2B	3
		隔離を主目的とした入院もあり	入院治療が必要な場合に原則入院		優先順位をつけた入院
入院療養	確保病床数	1,137	1,565	1,762	1,849
	うち重症	82	121	126	176
	臨時の医療施設	48	206	224	224
宿泊療養	確保部屋数	1,956			
国のレベル（目安）		レベル1	レベル2		レベル3